

第5学年国語科学習指導案

平成30年6月5日(火) 6校時

5年2組 児童数20名

指導者 秋田 喜俊 印

1 単元名 「新聞記者になりきろう！」

教材名 「新聞記事を読み比べよう」(東京書籍5年)

【身に付けさせたい資質・能力】	【設定した言語活動とその設定理由】
【知・技】新聞記事の構成と写真の役割について理解すること。 (1)カ	【言語活動】記事と写真に合った見出しをつけ、自分の考えをまとめながら交流する。
【思・判・表】目的に応じて、新聞記事と写真や見出しなどを結びつけ、必要な情報を見つけたり、書き手の意図を考えたりすること。 Cウ	
【学びに向かう力】新聞に関心を持ち、進んで新聞を読もうとすること。	【理由】新聞記事に合った見出しを考えることを通して、記事と写真などを結び付けたり、書き手の意図を読み取ったりできる力が養われるため。

2 単元について

単元観

- 指導事項C読むこと「イ 目的に応じて本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。」と「ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。」
- 単元で、記事と写真との関係に注意しながら、書き手の意図を読み取る力を身に付けさせる。
- 本教材は、「アユの遡上」を取材した二つの新聞記事を取り上げ、記事を構成する見出しや写真などを比べて読むことで、書き手のねらいに違いあることに気付くことができる。新聞に親しみ社会の出来事に興味を持つ児童を育てるのに適した教材である。
- 言語活動は、「新聞記者になりきって見出しを書き交流会をする。」これは、提示された新聞記事を使って、「記事と写真に合った見出しをつけ、自分の考えをまとめながら交流する。」というものである。

児童観

- 4年生9月「広告と説明書を読み比べよう」では、広告と説明書を読み比べ、それぞれの目的に合わせた表現の違いを読み取る学習をし、5年生5月「動物の体と気候」では、文章構成をもとに要旨をとらえる学習を経験しているが、言葉や文章に着目して正しく内容を読み、目的や意図に合わせた表現の違いを読み取る力が十分についていない児童もいる。
- 昨年度の高知県学力定着状況調査の結果を見ると、「読む」領域の「目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、理由を明確にして自分の考えを書く」問題で目標値を7.2P下回っていて、文章の要点をとらえ、理由を明確にすることに課題が見られる。学習場面においても個人差が見られ、目的や必要に応じて文章の要点に注意しながら読む力を身に付けていく必要があると感じている。

指導観

- 第一次では、新聞について知っていることを話し合い、新聞作りの学習なども思い出しながら「書き手の意図をとらえること」を付けた力として学習のねらいをつかむ。そのために、これからどのような学習が必要なのか既習事項をもとに学習計画を立てていく。
- 第二次では、新聞の特徴や役割、記事の構成と写真の役割について理解する。そして、二つの新聞記事を使い、見出しやリード文、本文などを比較し、それぞれの新聞記事の書き手の意図を読み取っていく。また、記事の中の写真を読み解き、その効果についても考えさせていきたい。
- 第三次では、記事の内容と写真から読み取った書き手の意図を踏まえ、効果的な見出しを考え、交流をする。

3 単元の目標

○新聞記事には意図があることを理解し、進んで書き手の意図を読み取ろうとしている。

【関心・意欲・態度】

◎二つの記事を読み比べ、写真や見出しに気をつけて、それぞれの記事の内容のねらいや違いを読み取ることができる。

【C 読むこと イ】

○書き手の意図を考えながら、見出しの効果や工夫を読み取ることができる。

【C 読むこと ウ】

○新聞記事を読み、記事の中の表現の工夫について気付くことができる。

【言 イ (オ)】

4 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
①新聞記事には意図があることを理解し、意欲的に書き手の意図を読み取ろうとしている。	①二つの記事を読み比べ、写真や見出しに気をつけて、それぞれの記事の内容やねらいや違いを考えながら読んでいる。 ②書き手の意図を考えながら、見出しの効果や工夫を読み取っている。	①新聞に使われている言葉や文章の効果や構成について理解している。

5 指導と評価の計画（全6時間）

		めあて	評価規準【評価方法】	学び	評価
第一次 1	1	・学習の計画を立てよう。	・新聞記事には意図があることを理解し、これからの学習に意欲的に取り組もうとしている。 【発言・ノート】	主	関①
	2	・新聞記事にはどんな特徴があるだろう。	・新聞の特徴や役割を知り、記事の構成や写真の役割などを読み取っている。【発言・ノート】	対	読① 言①
第二次 3	3	・共通点と相違点に着目して、記事の内容を整理しよう。	・二つの記事を読み比べ、写真や見出しに気をつけて、それぞれの記事の内容を読み取っている。【発言・ノート】	対	読① 言①
	4	・それぞれの記事には、書き手のどんな意図があるのだろう。共通点と相違点を基にして考えよう。	・二つの記事の共通点と相違点を押さえ、それぞれの書き手の伝えたいことを読み取っている。【発言・ノート】	対 深	読①
第三次 2	5(本時)	・記事に合う見出しをつけるにはどうすればいいだろう。書き手の意図に着目して考えよう。	・書き手の意図を考えながら、見出しの効果や工夫を読み取っている。【発言・ノート】	対 深	読②
	6	・これまでの学習をふり返り、分かったことやできるようになったことを確かめ、これからどう新聞を読んでいきたいかを考えよう。	・学習したことを基に、これから少しずつでも読み方を工夫して新聞を読もうとしている。【発言・ノート】	主	関①

6 単元構想図

付けたい力に向けた言語活動

記事の内容と写真から読み取った書き手の意図を踏まえ、効果的な見出しを考え、交流をする。

児童の実態

文章の要点に注意しながら読むこと、理由を明確にしながら自分の考えを書くことに弱さが見られる児童がいる。

本単元で児童に付けたい力

- ◎記事の内容のねらいや違いをとらえて文章を読む力
【C (1) イ】
- ◎書き手の意図をとらえて見出しの効果や工夫を読み取る力
【C (1) ウ】

第一次
1
(導入)

学習の流れと評価計画(全6時間)

主体的な学び

- 学習のねらいをつかみ、見通しを持つ。 1
- ・新聞について知っていることを話し合い、この学習で身に付けたい力をつかみ学習計画を立てる。【関①】

対話的な学び

- 新聞の特徴や役割、記事の構成と写真の役割について理解し、二つの記事を比較しながら読む。 3
- ・教科書の文章を読み、新聞がどのようなものかを整理する。【読①】【言①】
- ・二つの記事を読み比べ、共通点と相違点をとらえて内容を整理する。【読①】【言①】
- ・二つの記事の書き手の伝えたいことを考える。【読①】

対話的な学び

深い学び

- 記事の内容や写真に合った見出しを書き、それぞれの良さや工夫を考える。 2
- ・記事の内容と写真から読み取った書き手の意図を踏まえ、効果的な見出しを考える。(本時) 【読②】
- ・単元をふり返り、身に付いた力を確かめる。【関①】

第二次
3
(展開)

第三次
2
(発展)

7 本時における研究テーマとのかかわり

本時の目標

記事の内容と写真から読み取った書き手の意図を踏まえ、効果的な見出しを考えることができる。

本時の評価規準

☆書き手の意図を考えながら、見出しの効果や工夫を読み取っている。

支援

※グループでの話し合いが進んでいない場合は、対話のポイントを提示する。

軸となる言語活動

深い学びへ向かう手立て

発なぜ各グループは、これらの見出しをおすすめしたのでしょうか。

○記事と写真から、見出しを考えて書き、意見を交流する。

思考・判断

・見出しを書くために、記事や写真を手がかりにして、書き手の意図を考える。

表現

・書き手が最も伝えたいことを考えながら見出しを書く。

対話的な学びを実現するための手立て

- ・予習を基に、自分が考えた見出しとその理由を明確にしながら話し合わせる。
- ・友だちの考えた見出しやその理由をメモしたり、自分の考えた見出しに書き加えを入れる。

8 学習の展開（全6時間）

第三次 1時間目（5/6）

(1) 目標 記事の内容と写真から読み取った書き手の意図を踏まえ、効果的な見出しを考えることができる。

(2) 展開

	主な学習活動と予想される児童の反応	指導上の留意点 (○) 支援 (※) 評価 (☆)、主な発問 ^発
見 通 す	1. これまでの学習をふり返り、新聞の見出しの特徴について確かめる。 2. 本時のめあてをつかむ。	○実際に新聞を見せながら、「・短い・強い印象を与える・倒置法・体言や助詞で止める」等の特徴を書き出す。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 記事に合う見出しをつけるにはどうすればいいだろう？書き手の意図に着目して考えよう。 </div>	
思 考 ・ 判 断 ・ 表 現 す る	3. 各自が家庭学習で考えてきた見出しと、その見出しをつけた理由を話し合う。 ・よみがえる川 ・よみがえった豊かな自然 ・よみがえった環境 ・改善進み、きれいな川に <p style="text-align: right;">【グループ】</p> 4. 各グループで「おススメの見出し」を発表する。 <p style="text-align: right;">【全体】</p> 5. それぞれの見出しの良いところや工夫しているところについて考え、意見を交流する。 <p style="text-align: right;">【全体】</p>	○グループの対話の中で、友だちの意見をメモしたり、自分の考えた見出しに書き加えを入れてもいいことを伝える。 ※グループでの話し合いが進んでない場合には、対話のポイントを提示する。 ○各グループからの「おススメの見出し」を黒板に貼らせる。 ^発 なぜ各グループは、これらの見出しをおすすめしたのでしょうか。 ☆新聞記事の内容と見出し、写真の関係を読み取っている。【読①】
ま と め 振 り 返 る	6. 学習の振り返りをする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 家庭学習 本時の学習を生かし、別の新聞記事に合った見出しを書いてくる。 </div>	○記事や写真に合う、効果的な見出しをつけるために必要なことや友だちの考えから学んだことをふり返りに書かせる。

9 資料

・新聞記事（拡大） ・対話のポイントをまとめた表